

浄土真宗 東京ビハーラの歩み

昭和 6 1 年 1986年	宗派「医療と宗教に関する専門委員会」が教学本部内に設置。 「ビハーラ（仏教ホスピス）」が田宮 仁氏により提唱され、研究会が宗派でも設置。
昭和 6 2 年 1987年	超宗派の僧侶が築地本願寺において、「仏教ホスピスの会」を結成し、 「がん患者・家族語らいの集い」第一回を8月開催。
昭和 6 3 年 1988年	4月 「浄土真宗東京ビハーラ」として発会。同時に ① 特養あそか園・さくら園・緑風園・小板橋病院・国立がんセンターへの傾聴活動が始まる。 ② 8月より電話相談始まる。（当初は週に2日）
平成 2 年 1990年	全国6教区でビハーラ団体が設立され活動が組織的になる 東京ビハーラでは定期的に研究会を開催 加藤登紀子コンサートをつくば市で開催
平成 5 年 1993年	ビハーラフォーラムを開催
平成 6 年 1994年	「東京仏教ホスピスの会」と名を改め、電話相談は週3日間行う事になった
平成 7 年 1995年	12月に「がん患者・家族語らいの集い」が100回を迎えた
平成 8 年 1996年	電話相談が週5日間（月～金）行うこととなった
平成 1 3 年 2001年	集いの名称を「がん患者・家族語らいの会」と変更し、「ビハーラ建設」をめざす
平成 1 5 年 2003年	3月「がん患者・家族語らいの会」200回を迎えた
平成 2 0 年 2008年	8月「がん患者・家族語らいの会」300回を迎えた
平成 2 1 年 2009年	小児がん患者家族宿泊斡旋事業（築地本願寺・紫水へー泊1000円） 対象：国立がんセンター中央病院・聖路加国際病院
平成 2 7 年 2015年	11月に「がん患者・家族語らいの会」が400回を迎えた
令和 1 年 2019年	小児がん患者家族宿泊斡旋の対象に国立国際医療研究センター病院と東京女子医科大学病院を追加 10月の台風19号襲来の為、「がん患者・家族語らいの会」が初めて休会
令和 2 年 2020年	新型コロナウイルスの感染拡大の為「がん患者・家族語らいの会」の3～5月を休会とし 6月から「がん患者・家族語らいの会」をZOOMにてオンライン開催